

訪問理学療法士の立場から

訪問看護ステーションみやの杜

理学療法士 金子亜子

訪問看護ステーション みやの杜の紹介

▶ 平成16年3月1日開設

▶ 従事者

	常勤	非常勤
看護師	10	
理学療法士	1	1
事務	1	

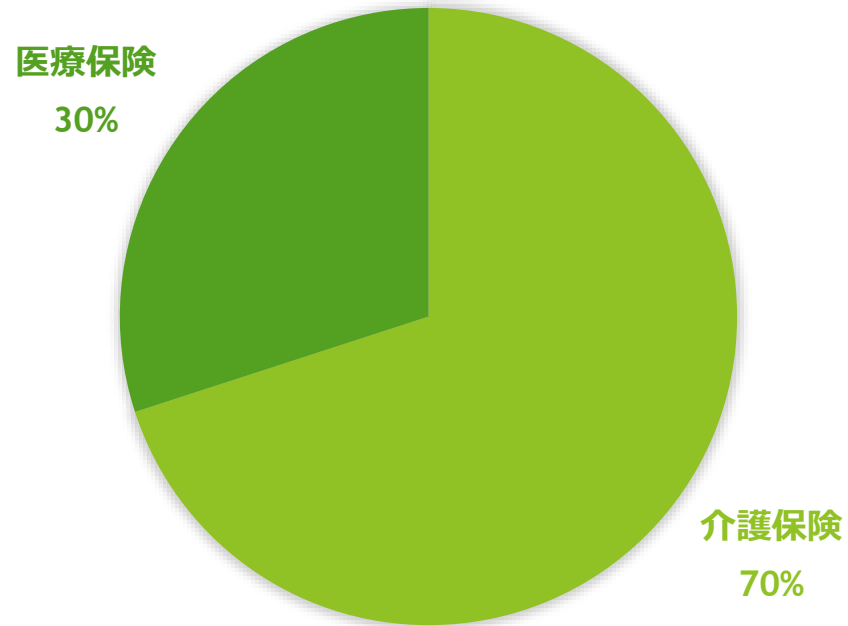


▶ 施設の特徴

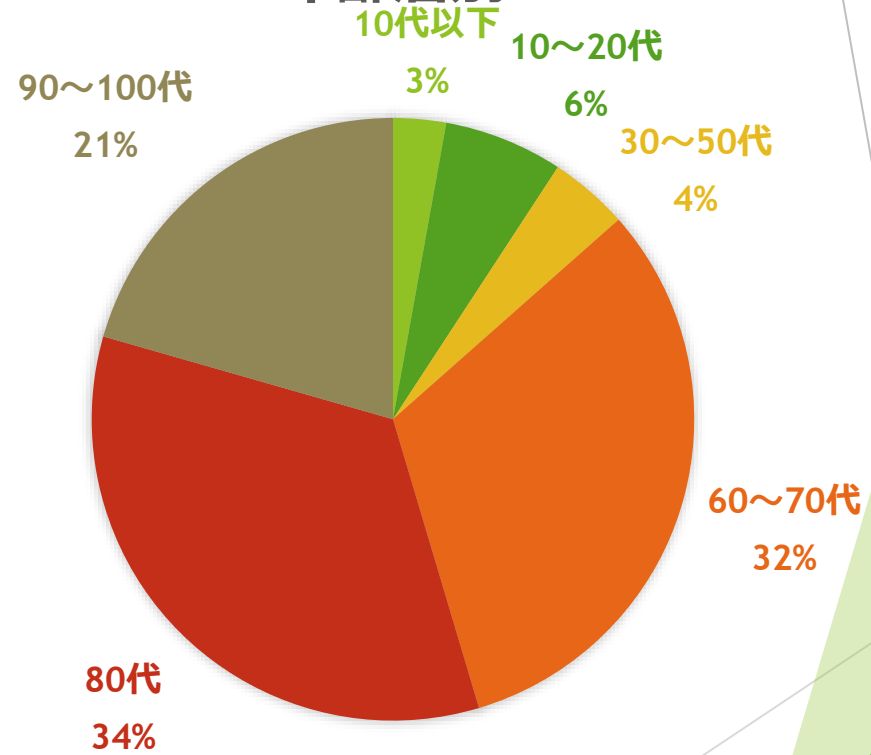
- ・ 機能強化型訪問看護ステーション
- ・ 同敷地内に 強化型在宅療養支援診療所
みやの杜クリニックがある
- ・ 事業所内に居宅介護支援事業所
ケアプランみやの杜がある
→ 訪問看護とパックでの依頼がある

利用者

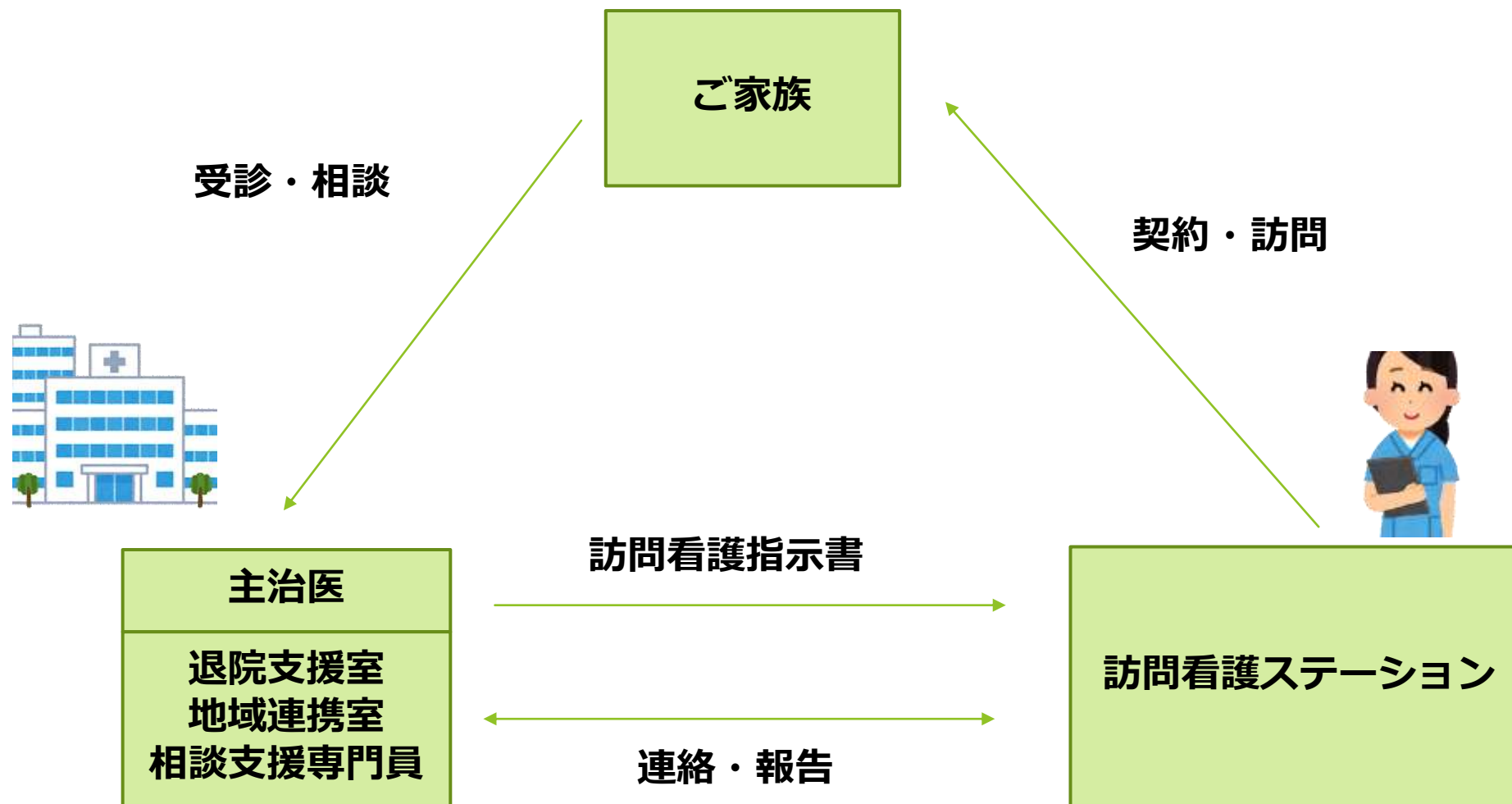
利用保険別



年齢層別



訪問看護利用の流れ



訪問看護指示書に書かれている

傷病名

低酸素脳症 ウエスト症候群

四肢多発骨折

痙性四肢麻痺 重度精神運動発達遅滞

難治てんかん 人工呼吸器装着状態

胃ろう増設状態 LEIGH症候群

慢性呼吸不全 18番染色体長腕部分欠損

摂食障害 慢性肺疾患 細菌性髄膜炎

水頭症 難治てんかん

訪問看護指示書の 指示事項に書かれている リハビリテーション内容

- 関節拘縮予防のリハビリをお願いします
- 四肢の関節機能温存のため可能な範囲で拘縮予防のリハビリを行うことが望ましい
- リハビリテーション 適宜
- 褥瘡予防 肺ケア
- 発達の評価を適宜お願いします

リハビリ職の役割



理学療法

座る、立つ、歩くなどの
基本的動作能力を高める

作業療法

応用的動作能力、社会適応能力を高める

言語療法

コミュニケーション能力や食べる機能を
高める

成人と小児のリハビリテーションの違い

[成人]

病気になるまで健康で生活を送っていた。

「早く元の状態に戻りたい」

機能の回復

リハビリの目的を説明し理解を得ながら
一緒に進めることができる

[小児]

成長、発達過程にある

話し言葉での伝達が難しい場合が多い
どの機能がどのくらい発達しているか、
どのくらい発達が見込めるかを
正確に判断することが難しい

「元の状態に戻る」ではなく
「新しいことの獲得と再び獲得する」の
両面へのアプローチ

リハビリテーションの内容

✿ 体調を整える支援

- 姿勢の管理
- 呼吸リハ



✿ 健康を維持する支援

- 関節可動域訓練（変形拘縮予防）
- 姿勢の管理
- 運動発達の評価、訓練



リハビリテーションの内容



生活を維持する支援

- ・福祉用具の提案
- ・環境整備



ご家族とのかかわり

ご家族から

- ・ お子さんのご自宅での様子
- ・ 学校や利用施設での様子
- ・ 受診時の報告
- ・ 相談



ご家族が何を望んでおられるのか？
何に困っているのか？

聞き取る力



チャンスを逃さない



玄関の段差



強風で閉まってしまうドア

気を付けていること

- ・感染症対策



- ・個人情報



Tさんとの出会い



小児から成人へ





障がいがあってもそのお子さんなりに
成長しています

生活年齢に合わせた様々な経験を
重ねることができるよう

リハビリで支えていきたいと思っています

